

8/11 海外協力隊員が町長に帰国を報告

ヨルダンでの貴重な経験を報告

国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊としてヨルダンに派遣された松井将大さん（28歳）が、ことし3月に帰国したことを報告するため、松尾和彦町長を訪れました。松井さんはヨルダンの首都アンマンに赴任し、教育施設やパレスチナ難民学校で、現地にはなかった体育の授業や日本文化などを教えていました。

松尾町長は「自分が向かいたいところに向かう気持ちを持って、どんな困難も乗り越えていってほしい」と激励しました。松井さんは「日本とは違う日常を感じることができ、貴重な経験ができました。今回の経験から、よりいっそう将来は海外を拠点に働いてみたいと感じました」と話しました。



左から松尾町長、松井さん



左から松尾町長、次男の菊男さん

8/21 山口きぬさん 100歳顕彰の表彰を受ける
末永くお元気で

山口きぬさんが、めでたく100歳の誕生日を迎えました。次男の山口菊男さん（72歳）が役場を訪れ、松尾和彦町長から顕彰状と記念品として三戸町産百年紅玉の果汁を使用したジュース2本を受け取りました。きぬさんは、大正9年8月21日に岩手県盛岡市（旧玉山村）で生まれ、結婚して子5人、孫7人、ひ孫7人の子宝にも恵まれています。



菊男さんは「いつも私たちを見守ってくれる温厚な母親でした。寿教室や公民館講座に参加して、友だちと楽しく過ごしていたことが長寿のひけつだと思う」、松尾町長は「これからも健康に留意して、私たちの元気の源になっていただきたい」と話し、きぬさんの長寿を祝いました。（左写真は、当時95歳のきぬさん）

8/28 (株)ウィズウェイストジャパンとの共助基本協定締結式

迅速で的確な災害ごみ処理の実現へ

三戸町と町で産業廃棄物管理型最終処分場の三戸ウェイストパークを運営する(株)ウィズウェイストジャパン（山田耕代表取締役）は、地震や風水害などによる大量の災害廃棄物（災害ごみ）が町内で発生した場合などに備え、共助基本協定を締結しました。役場で行われた締結式で、山田代表取締役は「廃棄物の処理を通じて町や社会に貢献していきたい」、松尾町長は「技術や実績がある事業者との協定は心強い。この協定を機会に、持続可能なまちづくりの実現を図っていきたい」とそれぞれ力を込めました。(株)ウィズウェイストジャパンの同様の協定は、全国で4例目、青森県内では初となります。



左から山田代表取締役、松尾町長

9/6 献血の輪プロジェクト in さんのへを開催

命と地域を支える思いやり

三八地区商工会青年部連絡協議会（武士澤勝利会長）は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店と、献血者が減少している医療機関の支援を目的とした献血の輪プロジェクト in さんのへを三戸中央病院正面駐車場で行いました。町内外の 60 人が献血に参加し、献血者には三八地区の飲食店が作ったお弁当などが提供されました。武士澤会長は「今回の企画のように、他の地域でも命と飲食店を支える取り組みが広がってくれれば」と話し、献血を行った中嶋明子さん（56 歳）は「皆さんの方になればと思い参加しました。この取り組みが地域の励みになってくれるうれしい」と話しました。



ドライブスルーでお弁当を手渡すスタッフ



左から松尾町長、井畠会長、一戸参事

9/10 緑の少年団育成功労賞「貝守林研 Jr」表彰式

人材育成の取り組みが評価される

貝守林研 Jr（井畠哲夫会長）が貝森みどりの少年団の育成に積極的に努めてきたことを評価され、公益社団法人国土緑化推進機構から表彰を受けました。表彰式では、青森県緑化推進委員会の一戸文爾参事から表彰状を受け取りました。貝守林研 Jr は平成 20 年度に設立され、地域の学習林の整備や、貝森みどりの少年団を対象に森林・林業体験学習会の企画・実施、グリーンジャンボリーの支援などを行っています。井畠会長は「活動のご支援・ご協力により成果を残すことができ、大変嬉しく思う」と喜びを語り、松尾町長は「町としても成長を願って、これからも支援を続けたい」と激励しました。

9/14 城山公園でボランティアを実施

みんなで力を合わせ、きれいな公園に

全国理容生活衛生同業組合は、毎年 9 月の第 2 月曜日を理容ボランティアの日としています。青森県理容生活衛生同業組合三戸支部（溜俊明支部長）は、三戸城跡・城山公園内の紙くずやたばこの吸い殻、缶、瓶などのごみ拾いを行いました。三戸支部の取り組みは今回で 3 回目となりました。溜支部長は「毎年、組合の皆さんのが協力してくれることを嬉しく思います。この活動を今後も続けていきたい」と話しました。



雨の中ごみ拾いをする三戸支部の皆さん



9/15 共同募金運動開始を町長に報告

11 ぴきのねこ赤い羽根ピンバッジが完成

三戸町共同募金委員会（関向文男会長）と社会福祉法人青森県共同募金会（元木篤子会長）は、10 月 1 日から始まる赤い羽根共同募金運動の開始と共同募金運動の普及を目的として作成した「11 ぴきのねこ赤い羽根ピンバッジ」の完成を報告するため、役場を訪れました。関向会長は「『11 ぴきのねこ』と一緒に町民のみなさんに募金を呼びかけたい」、元木会長は「ピンバッジを通じて、この活動をもっと身近に感じてもらいたい」、松尾町長は「ピンバッジ募金をきっかけに、助け合いの輪が広がることを期待したい」と話し、地域の福祉の発展を願いました。同ピンバッジは、三戸町社会福祉協議会での受付で 1,000 円以上の募金のお礼として差し上げます。このピンバッジ募金は、赤い羽根共同募金への寄附となり、三戸町内の子どもたちの福祉などに役立てられます。受付時間は平日の 9 時から 16 時 30 分まで。（問合せ：三戸町社会福祉協議会 ☎ 22-0262）

